

平成 29 年 度
幼稚園教員資格認定試験
教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、全て所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点の対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 70分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

「幼稚園教育要領」(平成20年文部科学省告示第26号)「第1章 総則 第1 幼稚園教育の基本」において、「教師は、幼児の主体的な活動が確保されるよう幼児一人一人の行動の理解と予想に基づき、計画的に環境を構成しなければならない。この場合において、教師は、幼児と人やものとのかわりが重要であることを踏まえ、物的・空間的環境を構成しなければならない。また、教師は、幼児一人一人の活動の場面に応じて、様々な役割を果たし、その活動を豊かにしなければならない」と示されている。このことを踏まえ、環境の構成について、次の問いに答えなさい。

【問1】

保育において環境を構成する際の視点について三つ挙げ、さらにそれぞれについて具体的に説明しなさい。

【問2】

次の事例は4歳児5月の「積み木あそび」の事例である。この事例における幼児一人一人に応じた指導の観点を二つ挙げ、さらにそれぞれの観点について事例に即して説明しなさい。

保育室の中央に積んでおいた中型の積み木に、S児が登園してくるなりすぐに興味を示し、積んだり並べたりしはじめた。

何を作るというわけではなさそうだが、思いつくまま置いている。何となく囲いのようなだったので、教師が「この中に入りたいな」と声をかけた。S児は、はっとしたというような表情をして、一つの角を戸のように開けて「ここから入るの」と開け閉めしている。そこへ、R児が来て、「僕もやりたい」と頼んでいる。S児に「だめ」と言われて、S児の周りをうろうろしている。しばらくしてR児は「手伝ってあげる」と言って、S児の表情を見ながら、やっと積み木遊びに参加しはじめた。

〔文部科学省『幼稚園教育指導資料 第3集 幼児理解と評価』、ぎょうせい、平成22年7月改定、18ページより引用〕

【問3】

上記要領には「教師は、幼児一人一人の活動の場面に応じて、様々な役割を果たし、その活動を豊かにしなければならない」と示されているが、一人一人の活動を豊かなものにするための教師の役割について、一般的な事項を五つ挙げ、その内容を説明しなさい。